

ごあいさつ

NPO法人 禁煙ねット石川

理事長 遠藤 将光



ボランティア団体「NPO法人禁煙ねット石川」について

私達の団体は、たばこの煙の無い美しい石川の空気を守り、明るい健康的な社会の実現を目標に、平成12年に岩城前理事長を中心として活動を始めました。その後、平成21年に特定非営利活動法人の認証を申請し、同年5月に登記され今日に至っています。

私は初代岩城理事長から、平成25年6月に同職を引き継ぎました。前理事長から見れば、まだまだ若輩者で何をやって良いのか五里霧中ですが、よろしくお願ひ致します。

さて、我々は先に掲げた目標を達成するため、皆様にたばこの害をお伝えし、喫煙者に対しては愛情をもって禁煙支援を行っています。HPのハートマークは「禁煙は愛！」の意味も込められています。また非喫煙者をたばこの害から守るため、路上喫煙禁止を推進し、禁煙化された飲食店を公開し、禁煙施設の拡大に取り組んでまいります。

従来から子供達への喫煙防止教育には大きな力を注いでまいりましたが、更に教育委員会、医師会等とも連携を深め、活動を継続して行きます。次の石川、日本を背負ってくれる世代に、最初の一本を手にしなない、ひいては生涯に亘って、たばこの煙に健康を侵されないよう、伝えて行くのが我々の使命の一つだと考えています。

ご自身の禁煙にチャレンジしている方、ご家庭や職場での禁煙に興味のある方、公共の場の禁煙化を推し進めたい皆さん、飲食店やホテル・旅館でたばこの煙を吸いたくない方など、たばこに関心をお持ちの皆様方のご協力なくしては我々の目標は達成できません。

是非会員になっていただき、力強いご支援をお願ひ致します。

たばこの害について

たばこが身体に及ぼす影響については多数の科学的な研究がなされ、その有害性は疑う事のできない事実として認められています。特にがん、虚血性心疾患（狭心症、心筋梗塞）慢性閉塞性肺疾患（肺気腫、慢性気管支炎）は喫煙が大きく関与している為、多数の医学学会から禁煙宣言が出されています。

しかし、大事な事があります。禁煙したその瞬間から身体に蓄積された有害物質は徐々に減少し、先に掲げた疾患にかかる危険性が下がって行く事です。ですから禁煙はいつ始めても良いのです、この事を忘れないで下さい。

社会の変化、時代の流れ

おいしい食事をしていても周りからたばこの煙が漂ってきたら折角のお料理が台無しです。たばこを吸っている方は感じないでしょうが、非喫煙者には残念な時間になってしまいます。しかし、今「禁煙」を売りにしている飲食店がどんどん増えています。

また、バス、電車、飛行機、タクシー等の交通機関や、図書館、公民館、児童館などの公共施設、特に病院や医院などの医療機関、学校等はほとんど禁煙化されました。

喫煙する方も非喫煙者に受動喫煙させる権利はありません。この変化は時代の流れであり、それは社会のニーズに基づくものです。私達はこの大きな社会の変化を支えて行きます。

そのために禁煙にご興味のある方々のご支援・ご協力を重ねてお願いする次第です。